



小諸新校の学校像

『**地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する 3科融合校**』

【基本理念】

実践的な学びを通して本物に触れ、年齢や立場を越えた様々な人たちや多様な進路を志すもの同士が協働して学ぶことで、新たな社会や価値観を創造する人を育む。

【教育方針】

- (1) 地域をフィールドとした協働的・探究的な学びを通して、地域の発展に貢献できる「課題発見力」や「探究力」を育む。
- (2) グローバルな視野で、コミュニケーション力や多様な観点から批判的に考察する力を育む。
- (3) 主体的な学びを通して、自らの可能性と未来を切り拓く力や、より大きな夢に挑戦する力を育む。

※小諸新校（仮称）再編実施基本計画より抜粋

小諸新校の学校像

小諸新校の学びの柱

- 1 地域と連携した学び
- 2 学科・教科横断型の学び
- 3 本物に触れる学び

○多様性を大切にする学び
○ワクワクする学び
○小諸ならではの学び

小諸共学共創コンソーシアム

地域の人々と共に学び
地域の未来を共創

主体的・協働的に生き方や学ぶ意義を考える、新校独自の探求的プログラム

3

小諸共学共創コンソーシアム

- ・地域の人々と共に学び
- ・地域の未来を共創

実現に向けて

新校ができる今だからこそ

今までにない県立高校としての新たな試み

- ・地域の人々が新校の学生のために出来ること
- ・新校の学生が地域の人々と一緒に出来ること

小諸市政として実施できること

4

小諸市総合計画

第11次小諸市基本計画

【政策1】子育て・教育

◆目標

心豊かで自立できる人が育つまち

◆ミッション（抜粋）

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。

- ◎ 子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
- ◎ 教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
- ◎ 地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。
- ◎ 生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。



5

小諸新校における地域連携の カリキュラムに関する提案

～限りない可能性を秘めた子どもたちのために～

その1 各科共通の学び場

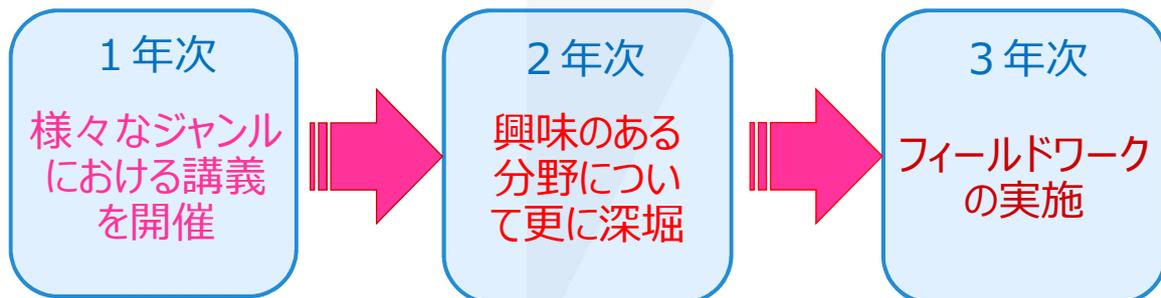
◆通常のカリキュラムにない学び場を提供する（本物に触れる学び）

【目的】

将来の進路を検討する上での参考材料としてもらう

【内容】

それぞれの分野においてその道のプロとして活躍されている方による講義を開催



7

その1 各科共通の学び場

◆通常のカリキュラムにない学び場を提供する（本物に触れる学び）

【講義の具体例】 ※（ ）内は講演予定者

- ・プログラマーの世界（IT企業経営者）
- ・6次産業の楽しさ（農家などの事業者）
- ・クリエイティブな田舎暮らし（移住実業家）
- ・情報発信のいろは（クリエイター・TV局アナ）
- ・eスポーツの頂を目指して（プロeスポーツ選手）
- ・お金の勉強（フィナンシャルプランナー）
- ・経営者として欲しい人材（企業経営者）
- ・趣味を仕事にした人の話（美容師・ネイリスト・イラストレーターなど）

etc...

8

その2 地域と連携した学び part1

◆小諸市内の企業や事業者との連携（地域と連携した学び）企業編

【現状】

- ・小諸市役所や市内企業と高校生との関係が希薄、接点がほぼない
- ・就職先を検討する際に初めて市内企業を調査する

【目的】

- 〈学生〉・企業を知る ・新規事業の提案 ・仕事の仕方を覚える
 〈企業・事業者〉・企業を知ってもらう ・若い世代の意見の取り入れ ・人材の確保

【内容】

- ①小諸商工会議所と連携し、若い世代の意見を取り入れたい企業や高卒の人材を確保したい企業や事業者を募集（市役所は必ず参加）
- ②企業見学の実施 数回を予定（企業の紹介、課題の共有など）
- ③高校生からの事業提案

9

その3 地域と連携した学び part2

◆小諸市内の企業や事業者との連携（地域と連携した学び）勉強編

【現状】

各校の進路状況

小諸高校で約9割が進学（うち4年制大学が約5割、短大が約1割）

小諸商業高校で約8割が進学（うち4年制大学が約5割、短大が約2割弱）

両校ともに進学者の約半数が4年制大学へ進学している

【目的】

進学したい、もっと勉強したいという生徒へのバックアップ

小諸新校から難関大学へのチャレンジ → **リアル「ドラゴン桜」**の実施

この高校へ行ったらこのレベルの大学という現状の凝り固まった常識を覆す

目標として、**国公立大学、難関私立大学を目指す**

合格者を多数輩出することにより、進学校として高校全体としてのレベルアップを図る

10

その3 地域と連携した学び part2

◆小諸市内の企業や事業者との連携（地域と連携した学び）勉強編

【内容】

- ・本気で国公立大学や難関私立大学を目指す学生を公募
- ・市内の学習塾と連携し、大学合格のためのプログラムを作成し、連携する学習塾より講師を派遣（プロポーザルにより学習塾を選定）
- ・通常の授業とは別に放課後に授業を行う
- ・学校の進路指導の先生とも連携し、学生の進路相談も実施
- ・積極的にオープンキャンパス等を活用し、進学欲の醸成を図る



11

小諸新校のカリキュラム
を実施するために

for the next future...

実施に向けての
それぞれの役割

小諸共学共創コンソーシアム

小諸市

- ①小諸新校へ地域連携室の設置
 - ・組織機構改革により位置付けの明記
 - ・地域連携室に職員を派遣
- ②小諸商工会議所との連携
 - ・カリキュラムについての検討
- ③予算の確保
 - ・カリキュラム実施に係る予算の確保
- ④カリキュラムの検討及び実施

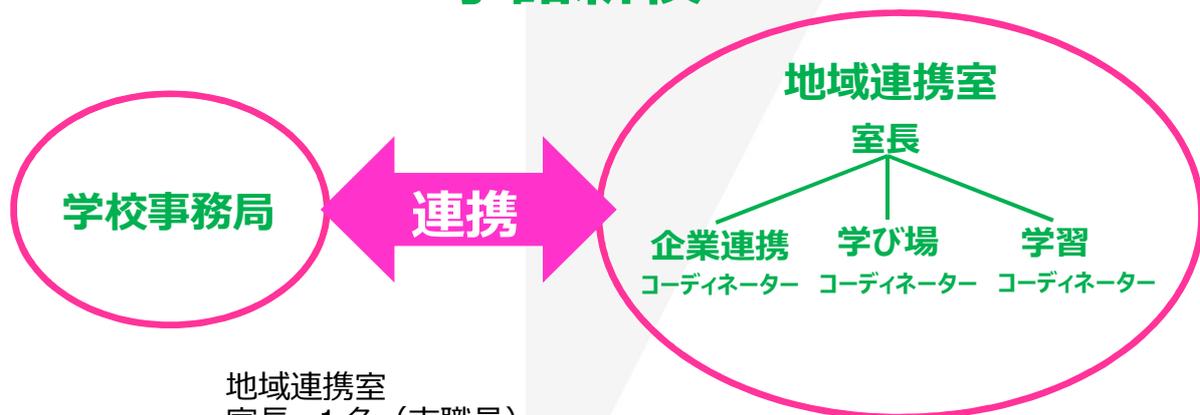
小諸新校

- ①校内へ地域連携室の設置の許可
 - ・組織的な位置付け
- ②地域連携室との学校連携
 - ・校舎利用の許可
 - ・先生との連携調整
- ③カリキュラム実施に係る各種調整
- ④県教委との各種調整

13

地域連携室 組織（案）

小諸新校



地域連携室
室長 1名（市職員）
企業連携コーディネーター 1名（民間）
学び場コーディネーター 1名（民間）
学習コーディネーター 1名（学習塾講師）

14

小諸共学共創コンソーシアムに向けた課題及び確認事項

- ・県教委との連携（地域連携の認識の確認）
- ・小諸新校における地域連携室の設置及び体制の確認
- ・小諸新校側と地域連携室の関わり方
- ・県立高校のカリキュラムとしてどこまでを許容していただけるか or 地域連携事業は全く学校側と関係のない事業となるのか
- ・小諸市教育委員会とのかかわり方
- ・地域連携事業の予算の確保
- ・**入学者確保のための小諸新校のPRの実施（中学生・保護者向け）**
- ・**母校が統合となることによる現在の在校生のケアと統合への機運の高揚**

15

スケジュール案

小諸共学共創コンソーシアム

		令和				
		4	5	6	7	8
小諸新校	校名決定					
	校舎建設 R5～R7					
	校舎引っ越し準備					開校
	カリキュラムの検討					カリキュラムの実施
	カリキュラム実施に向けた準備					
小諸市	募集要項の作成					
	募集・試験・合格発表					
	小諸新校の広報・市民周知					
	小諸未来義塾の活動					
	地域連携室設置準備					開校
関係予算計上						
開校に向けた準備						
カリキュラムの検討						カリキュラムの実施
カリキュラム実施に向けた準備						
小諸新校の広報・市民周知						

16

